

留学報告書

留学全体を振り返り、勉学・生活の両面について具体的にご記入ください。

[1] 参加した語学コースの時間数／科目名(受講科目・複数可)

- ・授業時間数:週 20 時間×4 週間 計 80 時間
- ・科目名:文法英語、コミュニケーション英語

時間	月	火	水	木	金	土	日
8:15~10:30	○	○	○	○	○	Free	Free
10:30~12:30	○	○	○	○	○	Free	Free
12:30~	Free	Free	Free	Free	Free	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

クラス人数：16人（女15人 男1人）

国籍割合：日本11人 中国2人 タイ1人 韓国1人 コロンビア1人

担当の先生：Mark, Valerie (1限) Leigh (2限)

授業方法：

最初の一週間はZoom(台風の影響)、その後3週間は教室での対面授業

1限：授業の最初は週末や前日の放課後に行った場所やしたことについてクラスの人と英語で話す。その後はテキストに従って文法や発音、リスニングの問題を解いていく。いずれも一人で黙々と問題を解くのではなく、周りのクラスメイトと相談しながら解く。最後の二週間はほぼ毎日簡単な課題が出された。次の日の授業中に先生がスクリーンに答えを映してくれるので、自分で答え合わせをする。先生が質問の時間を取ってくれたので、わからないところがあったらその場で先生に聞くことができた。

2限：コミュニケーション重視の授業。授業の中で頻りに席替えがあったため、この時間の中でクラスメイトのほぼ全員と話すことができた。各自のパソコンでCanvasという授業支援システム（OPEN LMSのような感じ）にアクセスし、それに沿って授業が進められた。最初の一週間と最後の一週間では、3、4人のグループを組み、与えられた課題に対する一つの成果物を作成し、金曜日にプレゼンテーションをした。

授業教材：学校指定のテキスト（1限）、Canvas（2限）

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

課外活動：①ソーセージシズル ②オークランド大学キャンパスツアー

①ソーセージシズルとは、ソーセージをバーベキューコンロで焼いて食パンで挟んだKiwiの国民食。対面授業の初日に学校のラウンジで職員の方がソーセージを焼いてくれた。ELAの学生全員が無料で参加可能だった。

留学報告書

②オークランド大学の建物の中に実際に入り、簡単な案内をしてもらった。また、オークランド大学の特徴やクラブ活動、学部などについて大学の職員の方から話を聞くことができた。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)
図書館 (Central City Library)

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋: 1部屋 1人で使用

様子: ハウスルール (帰宅時間やシャワー時間の制約等) が無かったので、比較的自由にリラックスして過ごすことができた。また、ネイティブと自分だけでゆっくりと話す機会はそんなになかったため、ディナーのときにその日についてホストファミリーと話す時間は貴重だった。

その日に起こったことや行った場所、食べたものについて話すときに、ホストファミリーに伝えたいことがたくさんあったが、自分の英語力がないために具体的な感情や出来事を伝えられなかったときに悔しかった。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● **楽しかったこと:**

- ・ 休日にひとりでビーチに行き、海を見ながらのんびりとランチとアイスクリームを食べたこと。
- ・ 留学最終日に 20 歳の誕生日を迎えたが、その日の授業中にクラスメイトみんなにバースデーソングを歌ってもらえたこと。また、その日の放課後に中国人の友人と日本人の友人とわたしの 3 人でケーキを食べに行き、誕生日を祝ってもらえたこと。(中国人の友人がケーキをおごってくれた)

● **苦労したこと:**

- ・ バスの乗り降り。バス停ごとにアナウンスがされないバスがあったので、最初はどこで降りたらよいかかわからなかった。
- ・ バスに乗るには AT HOP カードが必要であるが、オンラインのチャージでは反映に時間がかかるため、入金するのを忘れたときはカードに入金可能なコンビニエンスストアをその場で見つけなければならなかったこと。
- ・ 登校初日、帰宅する際に降りるバス停を間違えてしまい、道に迷ったこと。通常なら学校から 1 時間ほどで帰宅できるが、その日は 2 時間かかった。バスの乗り降りの仕方がわかっていなかったため、坂がたくさんある道を 1 時間以上も歩いた。

留学報告書

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上:

イギリス英語に慣れることができた。留学初日は、1回聞き返してもホストファミリーの言っていることが3割くらいしか聞き取ることができなかったが、最終的には1回聞き返して5割くらいは内容を理解することができるようになった。授業中に学校の先生が言っていることは理解できることが多かったが、ホストファミリーの英語は早くて聞き取るのが難しく感じた。

2) 専門知識の向上:

イギリス英語に慣れることができたこと。

3) 自己成長など

・海外の人々への壁を取り払うことができたこと。留学に行く前は、わたしは海外の人は自分と全く違う考え方を持っている人々だと思っており勝手に壁を感じていたが、実際に留学に行き、言葉が異なるだけでみんな同じ人間なのでそこまで怖がる必要はないのだと感じた。

・自分に自信が持てるようになったこと。わたしは休日には一人で出かけることが多かったため、初めて行く国で一人で行動できたということは大きな自信につながった。また、最初はバスの乗り降りやスーパーやコンビニ、アパレルショップでの買い物の仕方がわからなかったが、迷わずに目的地に一人で行くことができたり、店員とのやり取りをスムーズに行えたりできるようになり、自分の成長が目に見えて分かったことがとてもうれしかった。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

・道に迷ったときや緊急時にインターネットが利用できないと危険であるため、モバイルWi-FiかSIMカードのどちらかを購入し、フリーWi-Fi以外の場所でもインターネットを使えるようにした方がよい。

・ほとんどのお店でクレジットカードが使えるので、現金はそんなに持っていく必要はない。わたしは6万円分の現金を換金し持って行ったが、実際には1万円ほどしか使わなかった。

・留学先の学校では日本人がたくさんいる場合があるため、日本語を使う場合と英語を使う場合のメリハリをつけた方がよい。(授業中は英語のみで話し、放課後は日本語を話してもOKなど)

・頻繁に使いそうなフレーズはあらかじめ覚えるか、スマートフォン等にメモしておくとう便利。(テイクアウト用をお願いします、店内で食べます、これをひとつください、など)

留学報告書

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	約 80 万円
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	保険料：約 3 万円
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	食費：約 3 万円 交通費：約 1 万円
現地からの奨学金がある場合	0
お土産代や個人的な買い物	約 1 万 5 千円
その他(海外対応ドライヤー、モバイル Wi-Fi、変換プラグ等)	ドライヤー：約 5 千円 モバイル Wi-Fi：約 5 万円 変換プラグ：約 2 千円
留学に関する費用の総額	約 95 万円



海外派遣留学生
留学報告書

